



INDONESIA MISSION

新ホームページ
スマホ対応

発行：日本福音教会(JEC) インドネシアミッション

〒662-0896 西宮市上ヶ原六番町2-42 西宮福音教会内 TEL：0798-51-5100

郵便口座：00970-3-313875 「インドネシアミッション」

HP：<https://indnesia.com>



ATI神学校 卒業式

西カリマンタン宣教のためにいつもお祈りとご支援を感謝いたします。

7月に岡山県真庭市の十字屋グループを見学に行きました。ゴミを資源に変え農業を活性化するなど、地域が循環共生していく働きは想像していたよりはるかに規模が大きく素晴らしいものでした。私は西カリマンタンのエンティコン地域振興の何かヒントになればと行きましたが、ギャップがあまりにも大きすぎました。しかし、地域の声から始めることと、仕える心で忍耐して年月がかかっても前進する事を改めて教えられ、励まされました。

今回記事となったヘルマヌスのビジョンを読みながら、10年後20年後の夢を描きます。ビジョンを持ち続ける「神様のしもべ」を応援していきたいです。

インドネシアミッション代表 高橋めぐみ



「真庭めぐりガーデンにて」

○族伝道への宣教「新しい仕事」

ハリジョ

2025年4月、私の人生は新しい章を迎えました。その3ヶ月前に、私は前職を辞めるという難しい決断をしました。

私の○族伝道ミニストリーのために神様はさらに良い計画を持っておられました。この新しい仕事が与えられるまで、私は家族の経済のための仕事と○族伝道の両方を効果的に両立できる事を祈ってきました。なぜなら以前は経済的必要のために仕事をかけもちして○族の人たちを訪問する時間が取れなくなっていたからです。

そして今、神様の恵みによって新しく語学学校での仕事が与えられ1年半の契約を結びました。この仕事は単なる雇用ではなく、神様が開いてくださった扉であり、経済的な安定と○族伝道のまたとない機会を与えてくれています。



訪問先での様子

生徒たちを教えながら、私はこの場所は、人間関係を築き、信仰の種を蒔くことができる宣教の場だと考えています。授業やそこでの会話を通して、あるいは単に日常生活の信仰の証しをすることを通して、すべてが生徒へキリストの愛を反映するチャンスだと信じています。

私の祈りは、この仕事が、神ご自身の真理が伝わり、福音を聞いたことのない人々の心に触れる機会となることです。

ハリジョ兄 祈りの課題

- ・ 妻の健康と胎内の赤ちゃんのために
- ・ 新しい地域に溶け込めるように（私たちだけがクリスチャンです）
- ・ 生徒と地域社会へのミニストリーに知恵と戦略が与えられるように。
- ・ 古いバイクが売れ、新しいバイクが買えるように。
- ・ 福音を聞いた人々の心に、神様が働きかけてくださるように。



カリマンタン島西部地図

ATI神学校報告

ATI神学校教師、総務部長

ディナール・ボルカロ

神様を賛美します。ATI神学校は7月に2025年度が始まりました。

新入生は16名です。現在、ATI神学校では3つの学部プログラムを開講しています。神学部（学士号）、キリスト教教育部（学士号）、神学大学院（修士号）です。新入生の多くは経済的に困難な家庭の出身です。全学生数は100名で、内訳は1年間伝道実習中の学生が19名、4年生23名、3年生29名、2年生13名、1年生16名です。



ATI神学校礼拝

アンジュンガン

以下の祈りの課題のためにどうぞお祈りください。

1. 新入生たちが心を開いて悔い改め、召しに従順に従えるように。神学生の人形形成のためにお祈りください。今の若者は、SNSなどの影響を強く受け、人形形成においてより一層の配慮と助けが必要です。
2. ATI神学校スタッフたちにも、学生たちを導くために神の大きな愛、忍耐、そして知恵が与えられるように。
3. 神様が毎月の運営費を満たして下さっていることに感謝します。続けて必要が満たされるようにお祈りください。
4. キリスト教教育学部の教室建設のために。建設費用が満たされるように。
5. 神学校の建物とスタッフの住居が老朽化しているため、改修費用の為に祈りください。
6. 私(ディナール)はアンテオケ館(宣教師館)で高校生たち(グロリア寮1からの2名)と共に住んでいます。良い親の存在になれるようお祈りください。



舎監のヘルマヌス兄

ビジョン (VISION) 「キリストの品性を備えた人材を育成する」 グロリア中学生寮Ⅱ 舎監 ヘルマヌス

2008年から17年間、グロリア寮Ⅱの働きを通して、神様に仕えてこられたことを感謝します。

17年前、私は子どもたちから高齢者まで、この地域の人々と共に生活を始めました。当時私は、村の状況に心を痛めていました。村は非常に遅れており、孤立しており、道路も電気も通信やインターネットもありませんでした。唯一の交通手段は川だけでした。そのような状況の中、聖霊様は私を導き、寮の働きを通してスルー・トゥンパワンの人材育成を行うよう促してくださいました。そして「スルー・トゥンパワン・グロリア寮Ⅱ」という寮歌の歌詞とメロディが与えられました。その歌詞はこうです。

「5つの人生の目的。私は、夢の実現のために真剣に学び、御言葉の光によって信仰が成長し、一人の良き友となり、他者を祝福し、そして神様の栄光をあらわすために存在する♪」です。

これは、私の人材育成の最初のステップとなり、寮のすべての子ども達に暗記して歌わせました。

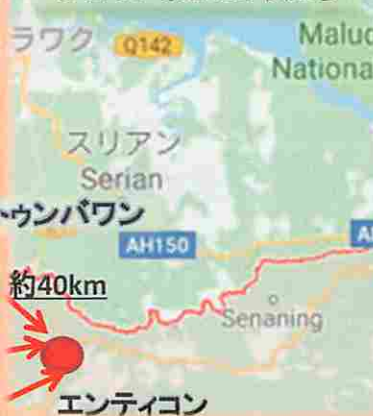
寮生活の主要な基盤として、彼らを御言葉とその他の霊的な活動で訓練しました。また、課外授業をして、毎日英単語も暗記させました。目標は、彼らが知性豊かな人間となり、現実の社会で競争できる能力を身につけることです。原則は「たとえ田舎出身でも、田舎者であってはならない」です。今まで皆さんから支援を受けた多くの若者が政府機関で働いています。公立校教師やインドネシア国軍隊員、看護師など、多様な職種に就いています。

私の次の願いは、もしイエス様が許されるなら、寮の働きが更に発展し、霊的、教育、実践面において、神様の栄光となっていくことです。そして、寮が独自の資金源や資金調達手段を持つようになって寮の働きを支え、支援してくださっている皆さんに依存しなくてもよくなる事です。

最後に、日本の皆様、祈りや支援を通じて私たちを忠実に支えてくださっていることを心から感謝します。主イエス様が、私たちの生活と働きを共に祝福してくださいように。



グロリア寮Ⅱの子どもたち



ATI奨学生の証し

エンティコン・グロリア寮Ⅰ 新舎監 ソフィア

日本の皆様へ

ATI神学校での私の学業を支援し、スポンサーとして支えて下さった事に心から感謝します。皆様の支援のおかげで、私は学業を無事に修了することができました。

私の論文テーマは「誠実な神のしもべとは(第2コリント8:21より)」です。ATI神学校の先生方にも、5年間にわたる教育と指導に心から感謝しています。

ATI神学校の寮生活で、私は多くの経験を積むことができました。特に、女子寮の寮長を任せられたことは、特別な経験でした。東カリマンタンでの1年間の伝道実習期間中も、神様は私を大いに助け支えてくださり、それも無事に終えることができました。



ソフィア姉

私にとってとても大きなことは、今、エンティコンのグロリア寮Ⅰの舎監の働きに派遣されたことです。この働きを任せていただいた事を大変感謝し、嬉しく思っています。この奉仕を無事に勤められるよう願っています。

私の祈りのリクエストは以下の通りです。

1. 寮の奉仕において、神様から知恵がえられるように。
2. 寮の子どもたちを育てる能力と創造性が与えられるように。
3. 寮の奉仕において、神様がいつも健康を守ってくださるように。

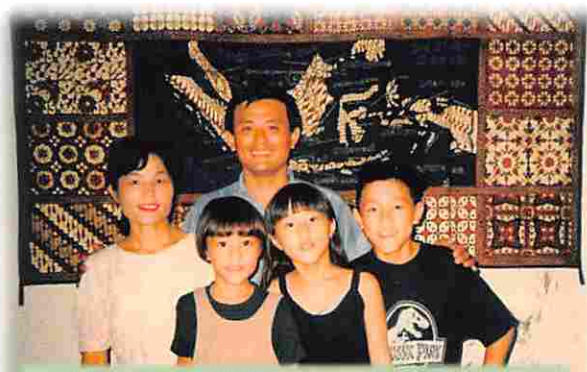
祈りと献金をもって支えて下さった皆さんに心から感謝します。皆さんが与えて下さった恵みに報いる事は出来ませんが、神様の愛と恵みが、皆さんをこれからも祝福し続けてくださるようにお祈りいたします。



ATI神学校の卒業式

「2組の宣教師をインドネシアに送り出して」 西宮福音教会 山本 篤・恵子

かつて西宮にあったKBI（関西聖書学院）から産み出され、育てられた西宮福音教会は海外宣教のスピリットを教会形成の中でいつしか自然に受け入れていました。教会設立から15年目の頃でしたか、「世界宣教と日本とわたしたち」「アンテオケ教会を目指して」という当時の身丈に合わないようなスローガンが与えられました。ですから新会堂を献堂したばかりの頃、大田裕作師ご夫妻がインドネシア西カリマンタンを宣教地と決められた時は教会員に動揺はなく、同意を得るのに時間は要しませんでした。間もなくお二人は教会を辞されて栃木のMTC（宣教師訓練センター）に移されましたが、その諸準備の段階からJECの大きな協力を得て支援会を立ち上げることができました。そののちご家族は1992年にインドネシアに向かわれましたが、最初の頃は特に通信体制がまだ脆弱で、ニュースレターも毎回難儀をおぼえながら発行していました。ところが、8年後に同じ場所、同じ働きのために同じ教会の高橋めぐみ宣教師が引き継がれた後は通信面においては隔世の感を覚えるようになり、随分スピーディかつ鮮明な仕上がりにには正直助かりました。



インドネシア宣教師館 大田宣教師家族

現在はすでに2組とも本帰国をされていますが、支援会は多くの方々のお祈りと温かいご支援により今も順調に続いています。ニュースレター（年3回発行）は今回90号をお届けしていますが、新しい編集委員も加わり、なるべく直近のニュースを分かりやすく掲載していきたいと願っています。引き続きインドネシア宣教のために皆様のご禱援とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。現地への宣教サポートとして今もATIの神学校、3つの中高生寮、ボルネオ幼稚園、プニティのアナスタシス教会、沿岸地域の未伝部族への福音伝道などと幅広く続けられています。

支援活動が困難な状況に陥ってもその都度主の助けを仰ぎ、喜ばしい結果を得てきました。かつて宣教師経験者のご家族が現地で色々危険な目に遭ったことを聞かされ、大田家の子弟たちの上に常に安全が伴うよう随分祈られました。7年後に帰国された時は子供さんが一人増えて思わず主の御名をあがめたことでした。特に大田宣教師時代（92～99年）の大田小学校教師のリクルートに関しては、重なることはあっても一度も途切れることがなく、JEC内外の15名の教育宣教師たちを備えてくださった主にただただ感謝のほかありませんでした。



支える会1998年頃

私たち夫婦は支援側の奉仕に携わり35年になります。高齢になったために近い日にバトンを渡さなければなりません。引き継いで下さる方が速やかに起こされるようお祈りください。

75年前から北欧スウェーデンより30名近くの宣教師がたを地の果てとも言うべきこの日本（特に関西）に次々と遣わし、背後で彼らをしっかり支えてくださった主と名も知らぬ多くの支援者たちの信仰に倣ってこれからも海外宣教の一端を担って行きたいと思います。多く人々の生き方を変えてきた「福音の力」は現在も遠くインドネシアにまで及んでいます。主に導かれて宣教地に赴かれた宣教師と本国で長年あつち祈りと支援を欠かさないクリスチャンたちを用いて世界宣教をダイナミックに進めてくださる主に心から感謝し、また期待しています。



めぐみ宣教師 按手式

ー 祈りのリクエスト ー

ATI神学校

- ◎ATI神学校のスタッフと経済の祝福と神学生のために
- ◎神学生が良い訓練と学びを受けることができるように

中高生寮（3つの学生寮共通）

- ◎子どもたちが明確にキリストに出会って変えられていくように
- ◎指導する舎監達の守りと霊性的のために

エンティコン・グロリア寮Ⅰ&

スルートゥンバワン・グロリア寮Ⅱ

- ◎グロリア寮Ⅰ、Ⅱ舎監の人事異動を主が最善に導いてくださるよう。
- ◎グロリア寮Ⅰに新しく派遣されたソフィアとグロリア寮Ⅱに派遣された伝道実習生アンディカのために

ブンカヤン・ベラカ寮

- ◎ブンカヤンの日本語学校、良い宣伝をして生徒が集まるように 舎監のギデオンに神様の助けがあるように
- ◎ベラカ寮の土地と建物が地域の必要のために用いられるように

グンジュマ村・ボルネオ幼稚園

- ◎政府（サンガオ県）の認可手続きが進むように
- ◎園長ネリ、教師2名に神様の助け知恵が与えられるように
- ◎グントゥンバワン村の分校も祝福されるように

プニティ・アナスタシス教会

- ◎フレンキー牧師、スシー夫人が公立小中学校で宗教（キリスト教）を教えている華人の生徒たちに福音が伝わるように
- ◎教会員の霊的成長と祝福のために

沿岸部族（●族）の働き

- ◎タヨンナ氏が訪問している人たちが、イエス様への信仰をしっかりと持てるように。
- ◎ハリジョ氏の働きの祝福のために

- ◎10月のタヨンナ氏来日の諸奉仕のために。

10/5(東京グレイス福音教会)と10/12(堺福音教会)礼拝・宣教集会、10/14(KBI講義)の準備のために。

その他

- ◎インドネシアミッションの働きを現地で継続する人材が遣わされるように
- ◎現地の毎月の運営費用が満たされるように

「私にとっての宣教～胡椒奨学金プロジェクトとの出会い～」 八尾福音教会つつじヶ丘チャペル 諏佐ほさな

私にとって宣教とは、どこか遠くに感じる話でした。友人達がミSSIONトリップ等で宣教地へ行った証を聞くと「へーすごいなあ」と思うものの、私には無理だしと思うばかりで中々身近に感じられませんでした。そして、証を聞いた時には宣教地について考えるものの、その場で終わっていました。

そんな中で、私はインドネシアミッションの胡椒奨学金プロジェクトと出会いました。インドネシアから送られて来る胡椒を選別し、小枝や枯れて色の悪い胡椒などを取り除き、分量を量った後乾燥剤を入れてオリジナルパッケージに入れてパッキングするというものです。

最初はただ母教会である曙チャペルのメンバーと一緒に胡椒を選別してパッキングするだけという感じでした。

しかし実際に奨学金としての献金を受取り、返礼品としての胡椒をお渡ししていく中で、インドネシア宣教が少し身近に感じられるようになりました。

宣教報告を聞く時だけでなく、胡椒の作業をしている時や食事で胡椒を使う際などにもグロリア寮を思い起こすようになりました。

アンドリカ達の写真やメッセージを見てからは、更に身近に感じています。

胡椒の選り分け作業
曙チャペルの皆さん



宣教地に行った訳でもなく、特別な賜物を用いた奉仕をした訳でもない、胡椒の選別作業を行ったり献金して返礼品の胡椒を使うだけという、誰でも出来ることしかしていません。

それでも作業を通して奨学生に思いを馳せるようになったことで、今まで遠く感じていた宣教が少し近く感じるよう

うになりました。プロジェクトのPRに携わるようになって、よりその思いは強くなったように思います。

日本に居ても、特別なことをしなくても、宣教は意外と身近なところで関わることが可能だという事をこのプロジェクトを通して皆さんにも感じていただけたらなと思っています。

現在サポートされている2人

名前 ユリア・アンドリカ・サワ
ウィディアダルマ大学4年生
生活費7000円/月をサポートしています
(学費は某教会が支援)

アンドリカ

名前 マリア・ネラ
エンティコン公立高校3年生
学費・生活費 6000円/月をサポート

ネラ



JEC聖会のブース ほさなさん夫妻

「二人からのメッセージは次号に掲載します。お楽しみに」